

## 新しい業務体制作り フリー入浴の実践

神奈川県藤沢市  
社会福祉法人富士白苑  
特別養護老人ホーム 藤沢富士白苑  
支援主任 飯島 嘉仁

### 1 はじめに

藤沢富士白苑は平成24年、4月にオープンしたユニット型の特別養護老人ホームです。私たちは「経営理念」を根幹に、ハンディキャップのある方でも健常者と同じように接することを心掛け、入居している利用者が望む、満足のいくサービスを提供しようと、積極的に新しい取り組みにチャレンジしています。今回発表させていただく「フリー入浴」は現場から主体的に上がった取り組み内容です。現場から提案が上がってきた背景としては、本来入浴は健常者の方であれば、好きな時間にゆっくり入るのは当たり前のことです。しかし、今まで行ってきた施設介護の入浴ケアは、特定の曜日でしか入浴できない、また朝食後から昼食前の「午前浴」、昼食後から夕食前の「午後浴」の時間帯でしか入浴できない体制が問題点としてありました。このような入浴体制は当然利用者本位のサービスとは言えませんでした。そして、「利用者に好きな時間に、ゆっくり入浴していただきたい」、「もっと利用者にとりを持ってゆっくり、丁寧に関わりたい」という現場の思いから、「フリー入浴の実践」が始まりました。

### 2 取り組みの紹介

#### 【フリー入浴の実践事例】

##### ～その1 入浴フルオープン体制～

「入浴フルオープン」とは、月・火・水・木・金・土・日と1週間全ての曜日で入浴ケアを展開することです。毎日入浴業務を行う体制を言います。

##### ●入浴フルオープン体制のメリット

- ・入浴フルオープン体制であれば、仮に利用者の体調が悪く、その日入浴できなかった場合でも、翌日に調整して入浴することができます。
- ・1日に入浴される利用者の人数が分散されて少なくなり、利用者1人に掛ける入浴時間が長くなります。また、介護職は利用者とは1対1でゆっくり、丁寧に関わられます。
- ・毎日入浴業務があることで介護職の人員を曜日によって増やしたり、減らしたりする必要はなくなるので、職員の業務負担軽減にも繋がります。
- ・ショートステイの利用者で「利用初日にお風呂に入りたい」、「退苑する日にお風呂に入りたい」という要望に難なく応えることができます。

## 1 グループ 入浴フルオープン体制 ※週2回での入浴

AM	月・木	火・金	水・土	
	Aさん	Dさん	Gさん	
	Bさん	Eさん	Hさん	
	Cさん	Fさん	Iさん	
PM	月・金	火・土	水・日 (AM)	木・日 (PM)
	Jさん	Mさん	Pさん	Sさん
	Kさん	Nさん	Qさん	Tさん
	Lさん	Oさん	Rさん	

※1グループ（利用者20名）：1日に入浴される利用者の人数は約6名。

## ～その2 夜間浴～

入居している利用者の中には「夕食後お風呂に入りたい」、「夜寝る前にお風呂に入りたい」といった要望があります。要望に応えるために「夜間浴」が実施できる体制を整えました。

※夜間浴専用のタイムスケジュールを作成。

※夜間浴担当者の勤務は12:00～20:30、12:30～21:00の2パターン。

## ～その3 早朝浴～

入居している利用者の中には「朝1番で入浴したい」という方もいます。また、認知症の方でお風呂が気になり、朝起床してから「お風呂はまだですか？」と繰り返しおっしゃる方もいます。要望に応えるために、朝1番で入浴できる「早朝浴」の体制を整えました。

※早朝浴専用のタイムスケジュールを作成。

## 3 考察、評価

藤沢富士白苑の介護職たちは、できるだけ利用者が好きな時間でゆっくりお風呂に入ってもらいたいために、そして1人ひとりの利用者とはゆとりを持って、丁寧に関わる入浴ケアを展開することを目的に、チームで新しい業務体制を考え実行していきました。

「入浴フルオープン」、「夜間浴」、「早朝浴」等新しい体制作りに取り組んできた結果、実施して良かったこと、実施してから気づけたこと、もっと良くするために工夫できること、利用者からのご意見、生活の様子の変化、職員のモチベーション等それぞれの評価についてまとめました。

## ●入浴フルオープンの評価

- ・体調不良や拒否等で入浴が中止になっても、翌日に入浴することが可能になった。
- ・利用者1人ひとりゆっくり入浴することができた。利用者1人に対して、30分～40分の時間を掛けることが可能となった。
- ・ショートステイ利用者は利用初日と退苑予定日に入浴することができた。
- ・1日に入浴する利用者の人数が減り、職員の身体的負担の軽減に繋がった。

## ●夜間浴の評価

- ・夜間帯認知症の利用者の問題行動（帰宅願望、夜間ユニット内の徘徊）が少なくなり、朝までゆっくり休まれた。
- ・夜間トイレに行く回数が減って安眠されるようになった。
- ・夜勤者の精神的・身体的負担の軽減に繋がった。
- ・夜間浴の体制を応用することで「夜間屋外レクリエーション」を実現することができた。

※下記写真は実際に夜間帯に行った行事企画です。



【横浜スタジアム 野球観戦】

【居酒屋で利用者と飲み会】

【花火会】

## ●早朝浴の評価

- ・利用者より「朝1番で入浴できて贅沢だ」と満足されていた。
- ・早朝浴を行う事で、午後浴の人数が減り、午後のレクリエーションの時間が充実した。

## 【今後の課題】

「入浴フルオープン体制」は施設全体で実施できていますが、「夜間浴」と「早朝浴」はまだ一部の方でしか、実施ができていません。今後は利用者又は家族のご希望に合わせて全体で「夜間浴」、「早朝浴」を実施していきたいと考えています。

## 4 おわりに

利用者ができるだけ好きな時間、ゆっくりお風呂に入っていただくため、「フリー入浴」を実践してきましたが、新しい体制を作っていく事で介護現場に少しずつゆとりが生まれ、利用者本位の「個別ケア」がより良い形で実現することができました。まだまだ課題はたくさんありますが、今後も利用者の望む介護を提供していくために、チーム一丸となり良い介護サービスを提供していきたいと思えます。

さいごに、藤沢富士白苑では今年度より新しい取り組みとして、介護ロボット「パルロ」と「パロ」の導入（ロボットセラピー）、また「介護アロマ」の導入（リーダーの介護職と看護師がアロマコーディネーターの資格を取得）を開始しております。

利用者へより質の高いサービスを展開していくため、今後も新たなサービスを確立していきたいと思えます。